



結核病学会について

院長 坪井 知正

今年の7月6日に京都駅前のメルパルク京都で第123回日本結核病学会・第93回日本呼吸器学会近畿地方会を大会長として開催しました。医者もある年齢になり、国立病院の院長などやっておりますと、様々な学会を担当させられます。学会前は、昨夏の地方会が西日本を襲った大雨で中止となったこともあり、気が気ではなく、天気予報を一日に何度も確認する始末でした。

学会の開催には相当額のお金を集める必要があります。ランチョンセミナーや有志の方からの寄付が必要となり、大会長の仕事の大半は資金集めになります。幸いにも、多くの親切な方々が協力してくださり、すぐに目標の資金は調達できました。ところが、学会直前になり、コンベンション会社の計算ミスで資金が足りないことが判明しました。抄録集の印刷や配送を止めて経費を切り詰め、東京都病院の医師やメディカルスタッフがボランティアで体を張ってくれましたので、何とか乗り切ることができました。当院の職員の皆様には、紙面を借りて、心より感謝申し上げます。

学会を成功させるために重要なのは明確なテーマです。私自身が医者になって以来、在宅酸素療法、マスクを用いた人工呼吸療法を中心に呼吸生理学の研究と臨床を行ってきましたので、地方会のテーマを「呼吸生理学30年の歩み」としました。教育講演は、一般には30分間程度ですが、十分に内容を教えていただけるよう、1時間としました。5人の方に講演をお願いしましたが、全員が京都大学胸部疾患研究所につながる方々で私の先輩と後輩です。「呼吸と嚥下の協調機構と病態生理」を兵庫医大の越久仁敬教授、「定量的画像解析」を滋賀医大の中野恭幸教授、「基礎から学ぶQOLの評価と実践」を川崎医大の小賀徹教授、「睡眠呼吸障害の管理と臨床」を京都大学の陳和夫教授、「呼吸器疾患へのヒトiPS細胞を用いたアプローチ、現在と未来」を京都大学の後藤慎平准教授（後藤先生は東京都病院OBで我が国の呼吸器分野のトップランナーです）にお願いしました。私自身も、会長講演として「終末期を含む慢性期の呼吸ケア」のテーマでお話しさせていただきました。

今回の学会で、私が秘かに試みたのは、呼吸器学会を医師だけに閉じたものから多職種に開かれたものへの転換でした。その目的は十分には達成できませんでしたが、当院のメディカルスタッフから10以上の演題が登録されました。その準備過程は発表者にも指導者にも過酷なものでしたが、学会では堂々と発表することができました。今後、当院のメディカルスタッフの臨床研究レベルの向上が期待されます。

来夏も呼吸ケアリハビリテーション学会の地方会の担当となっておりますので、プログラム作りを開始したところです。近畿地方の呼吸ケアやリハビリにかかわる医療者の方々にとって役立つものにしていきたいと考えています。東京都病院の職員の方々にも、また、相当なご負担をお願いすることになりますので大変心苦しいのですが、前向きに捉えて、参加する過程で学問の一端に触れる楽しみを得ていただけるよう努めていきたいと思っております。

病院の基本理念

私たちは、わかりやすく安全で
安心して受けられる
質の高い医療を提供します。

看護師募集中!

- ◎ 常勤看護師
- ◎ 非常勤看護師

人事担当者又は看護部長室へご連絡ください



結核病学会について

西病棟4階 看護師 奥村 豊

7月6日（土）に第93回日本呼吸器学会近畿地方会に参加しました。当院からは医師だけでなく看護師や言語聴覚士など多職種がそれぞれの演題を発表しました。

今回の発表は全て口演での発表ということもあり緊張もありましたが、病棟で患者さんのために行った看護を多くの人に伝えることができたと感じています。学会で発表することは決して簡単なことではありませんが、これまでやってきた看護を振り返り、良い点や改善点を見つめ直すとても良い機会だと実感しました。また講演や演題を聴講することで多くを学べる学会でした。



理学療法士 高木 康仁

上述の学会では、多くの先生方の発表を聞くことができ、私自身も症例発表をさせていただきました。

私の発表内容は、ある症例に対して腹臥位（うつ伏せの姿勢）有効性を示唆するものでした。この発表に対して貴重なご意見を賜り、リスク（危険）とベネフィット（恩恵）を整理して取り組んでいくことの重要性を再確認することができました。

学会は、取り組みの成果を公開発表し、その科学的妥当性をオープンな場で検討議論する場といえます。より良い医療はこの積み重ねから生まれてきていると思います。今後も積極的にこのような学会に参加し、患者さんへのより良い医療の提供に役立てていきたいと考えています。

緩和ケアチームについて

西病棟5階 副看護師長 中西 藍

南京都病院の緩和ケアチームは、2008年に発足し今年で11年目を迎えます。今年度からチームのメンバーが変更になり、水口医師を筆頭に田畑医師、管理栄養士、薬剤師、看護師、MSWと新たなメンバーで活動しています。また、7月からは心療内科の小沼医師もチームに加わり、患者さん・ご家族の方々の精神面への介入が強化されました。

まだまだ、緩和ケア＝終末期ケアと捉えられている医療者、患者さん・ご家族の方は多いように思います。しかし、難病の患者さんには早期からの緩和ケアの提供が必要です。『この病気は治らない』と言われた患者さん・ご家族のこころは揺れ動きます。身体的な症状が出現すると気分も落ち込んでいきます。このような患者さん・ご家族の方に少しでも前向きに、今ある命と向き合えるよう、手助けをいたします。私たち緩和ケアチームは、患者さんに関わる医療者と協働して患者さん・ご家族の方のQOL向上を目指し日々活動しています。いつでも気軽に相談ください。



今年も小児肥満サマースクールを開催しました!

小児科 診療部長 徳永 修

どうしても、「肥満＝食べてばかりで動かない」などのネガティブなイメージで捉えられてしましますが、小児肥満の多くは生活習慣ではなく、遺伝的な素因が原因であるといわれています。「食べてばかりいるから」、「動かないから」と子どもたちを責めることは肥満解消に結び付かないだけでなく、子どもたちに不要な劣等感を植え付けてしまうことにもつながります。当院では、肥満傾向にある子どもたちが自分たちの身体に注意を向け、肥満解消に向けた意欲を持つこと、さらに、ご家族が子どもの肥満に関する正しい知識を持ち、子どもたちの良き伴走者となってもらうことを目的に、小児肥満サマースクールを継続して開催してきました。今年も当院に隣接する府立城陽支援学校の協力を得て、8月2日に開催し、9名の子どもたちとご家族が参加されました。子どもたちの身体計測・各種検査、リハビリスタッフや学校の先生方との運動、肥満に関する学習、医師と栄養士による個別相談、などたくさんのメニューを詰め込んだ一日でしたが、大過なく終えることができました。今後も当院小児科の診療機能を生かした地道な取り組みを継続していきたいと思っております。



小児科医師自己紹介

小児科 前田 由可子



はじめまして。令和元年 7 月 1 日より南京都病院に赴任しました、小児科の前田由可子です。平成 26 年に京都大学を卒業後、西神戸医療センター、京都大学医学部附属病院、大津赤十字病院を経て、今回の着任となりました。当院では小児科全般の診療、重症心身障がい児者の医療的ケア、また、乳幼児健診・予防接種等の小児科保健医療など、幅広く担当いたします。将来は小児免疫・アレルギー分野を専攻する予定です。患者さまやご家族のみなさまに、おだやかですこやかな毎日をすごしていただけるよう、日々学びながら精進いたします。今後ともよろしくお願いたします。



地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

患者様やご家族に安心していただけるよう、職員一同いつも笑顔で心がけています

医療法人 八木医院

小児科

院長 八木 公美代 先生



昭和 54 年に開設の小児科医院です。主人の父親から継承いたしました。滋賀医科大学を卒業後、附属病院小児科で研修し、その後、草津中央病院（現 草津総合病院）小児科、大学院入学をはさんで、第一びわこ学園（現 びわこ学園医療福祉センター草津）に勤務しました。びわこ学園は重症心身障害児の長期療養施設で、寝たきりで喋れない患者さんが多くおられました。そこでは目の動きや息遣いの細かな変化が病

状を理解するための手がかりでした。今も、ぐずっているお子さんやまだ喋れないお子さんの診察では細かなサインを見落とさないように気をつけています。また、びわこ学園には、はしかやインフルエンザの脳炎から 10 年以上寝たきりの患者さんもおられました。重い後遺症からお子さんを守るために、予防接種は積極的におすすめしています。定期接種だけでなく任意接種についても気軽にご相談ください。最近、乳幼児さんの弱視スクリーニングを始めました。斜視や乱視などが無いかを調べ、異常が疑われる場合には眼科受診をおすすめします。生後6ヶ月のお子さんから受けていただけますので、お気軽にお尋ね下さい。小児科医院ではありますが、ご家族ぐるみの受診も多く、地域のかかりつけ医として日々研鑽を積んで行きたいと思えます。南京都病院の皆様には専門外来での診察や検査など、お世話になっております。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

■ 京田辺市大住ケ丘3丁目17-3

■ TEL 0774-62-6792

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前診 9:00~12:00	●	●	／	●	●	●	／
午後診 17:00~19:30	／	／	／	／	●	／	／

■ 休診日 月曜日午後、水曜日、木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

※ 予防接種は予約制です。受付または電話でお申し込み下さい。

患者様携帯電話用予約受付URL
<http://ctsrsv.jp/yagi/top-i.asp>

患者様PCスマートフォン用予約受付URL
<http://ctsrsv.jp/yagi/top.asp>



快適をご利用者に、安心をご家族に

メディケア・リハビリ訪問看護ステーション城陽

訪問看護

訪問リハビリ

株式会社メディケア・リハビリは、大阪府藤井寺市に本部を構え、「ご利用者に快適を、ご家族に安心を」をモットーに、訪問看護事業を主として在宅でのニーズに応えてきました。今年で 31 年目を向かえます。

城陽市においては、2018 年 12 月に城陽寺田林ノ口にメディケア・リハビリ訪問看護ステーション城陽を開設いたしました。2019 年 4 月には、子供療育事業開設に伴い寺田樋尻に移転し、開設から 1 年 9 ヶ月が経過しようとしており、現在は看護師 4 名、理学療法士 8 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 1 名で、城陽市、宇治市を中心に訪問看護・リハビリ業務を行っております。要介護、介護予防の方々への訪問はもちろんのこと、医療保険での対応として、難病をお持ちの方や子供さんへの訪問、緊急時対応等も行っております。

昨年の 10 月には、同事業所内に居宅介護支援事業所「ハートケア城陽」を開設しており、介護に関わる相談などを受け付けております。

また、今年 6 月からは子供療育事業として「PARC（パルク）ウィル城陽」を開設しております。午前には児童発達支援の子供さんへの療育、午後からは放課後等デイサービスを行っております。リハビリスタッフが多く在席していることから、在宅における運動面、また生活動作面でののお困りごとに対して対応させて頂くことが多くあり、また看護師との連携により、医療的側面からの対応も充実しております。

住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活を送ることができるように、色々な面からお話させて頂きたいと考えております。どんなお悩みでも、お気軽にご相談頂けたらと思います。



■ 京都府城陽市寺田樋尻18-6 3階

■ TEL 0774-74-8086

■ FAX 0774-74-8087

■ 営業時間：9:00~18:00（月~金）

■ 休業日：土日祝、年末年始



外来の紹介について

外来師長 熊谷 かず子

平成 30 年 1 月に新外来棟をオープンし、1 年半が経過しました。スムーズな診療を目指して、外来受け付け時間中は外来看護師がインフォメーションとして立ち、初めて病院に来られた方や、予約以外で来られた方への問診を行っています。

外来では 12 の診療科を標榜しておりますが、脳神経内科や呼吸器科を多くの方が受診されています。呼吸器科では、睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来での CPAP（呼吸補助装置）による治療、小児科ではアレルギー外来・肥満外来・こころとからだ・小児神経発達・小児内分泌・予防接種の専門外来があります。HOT（在宅酸素療法）外来や DOTS（直接服薬確認療法）外来は、入院されていた病棟の看護師が行うことで、在宅での情報を共有して診療につなげています。また、外来化学療法室では毎週水曜日に通院で化学療法を行っています。平成 30 年 7 月からは入院支援センターが開設となり、患者さんが安心して入院できるよう支援しています。地域連携室とも連携を図りながら、継続看護につながるよう努めています。平成 31 年 4 月から、脳神経内科では午後の専門外来枠を増やしてパーキンソン・てんかん・手足のしびれなどの診療も行っています。

私たちは患者さん一人ひとりの心とからだが健やかであることを望んでいます。そして患者さん・ご家族の安心と信頼を大切に外来看護を行っています。

いつでもお声をかけてくださいね。



当院主催結核研修会案内

結核研修会のお知らせ

多くの施設の方々にご参加頂けますようお願いしております。

■令和元年度結核研修会(保健師、看護師、コメディカルスタッフ向け)

日時：令和元年10月17日(木)13時00分～17時00分

会場：独立行政法人国立病院機構南京都病院 3階大会議室

参加費：無料



■令和元年度結核研修会(医師向け)

日時：令和元年11月24日(日)13時00分～17時00分

会場：メルパルク京都 6階宴会会議場6【楓】

参加費：無料

後援：京都府医師会(予定)

申込先：独立行政法人国立病院機構南京都病院

担当：井崎(いざき)

Email: 407-keiei-1@mail.hosp.go.jp

Tel: 0774-52-0065

Fax: 0774-55-2765

病院からのお知らせ



この度、送迎バスを更新するにあたり運行スケジュールも同時に見直すこととなりました。

諸般の事情により、10月1日からは運行するバスは2台から1台となります。なお、今回運行スケジュールの見直しに当たっては、継続利用頂いている皆様にご迷惑をおかけしないよう、これまでの運行実績と公共交通機関とのアクセスを考慮しております。便数がこれまでより減少することでご不便を感じられる方もいらっしゃると思いますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

10月1日以降のタイムテーブルは、HP又は外来ホールでも掲示しております。

交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- 呼吸器科
- 内科
- 呼吸器外科
- 皮膚科(入院患者のみ対象)
- 麻酔科(入院患者のみ対象)
- 脳神経内科
- 外科
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 歯科(入院患者のみ対象)
- 小児科
- 消化器科
- 整形外科
- 放射線科
- 耳鼻いんこう科(休診中)
- 心療内科(入院患者のみ対象)



独立行政法人国立病院機構

南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)
〒610-0113 城陽市中芦原11番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
URL <https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

地域医療連携室

電話受付時間の延長について
平成30年12月1日から、申し込み受付を19時まで延長させて頂きます。
電話受付時間

8:30～19:00 月～金(土・日・祝日休み)

TEL: 0774-52-0191(直通)

0774-52-0065(代表)

FAX: 0774-58-0270

予約状況を確認し、その場で受診日時をお返事いたします。

なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、ご了承下さい。

E-mail: 407-renkei@mail.hosp.go.jp